

和歌山工業高等学校定時制

実施日時	令和元年 9月24日(火) 18:00~20:20
参加者	生徒11名、教職員8名、地域住民等0名 計19名
実施内容	救急救命講習(心肺蘇生法およびAEDの取り扱いについて)

ねらい

- 1、近い将来予想される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備え、防災への意識を高める。
- 2、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年、職場や地域の防災リーダーの育成を図る。

主なプログラム

- 1、救急現場の状況 : 和歌山市
- 2、心肺蘇生法とAED : 中消防署南分署
- 3、感想文 : 1年クラス担任

概要

- 1、和歌山市消防局中消防署南分署の協力のもと実施した。
- 2、署員による講義と実演。
- 3、生徒の実技(各自による実技)
(指導は南分署員)

参加者感想文

- ・僕は今日の防災スクールを終えて、苦しそうな顔をしている人や、倒れている人を見かけたら、すぐに今日やったことを実践してみようと思いました。この授業を受けるまでは、倒れている人を見かけたとしても119に通報するだけで大丈夫だろうと思っていましたが、授業を受け実際にやってみて、通報する以外にも自分にできることがあることが分かったのですごく勉強になりました。
多分、実際にやってみると、服を脱がし



たり人工呼吸をする場面ですごく緊張すると思いますが、皆の前で一連の流れをやった僕にとっては、あまり驚異ではないと思います。今日の授業、始まる前まではあまり楽しくないだろうなと思っていましたが、すごく勉強になってすごく楽しかったです。

- 心臓マッサージは思っていたよりも力が必要だったので、30回やっただけですぐに姿勢が悪くなってしまいました。前のめりじゃなくなってしまったり、肘が曲がってしまったり、力が弱くなってしまったりと、とても難しかったです。それに比べ消防士の皆さんは何回マッサージしても姿勢が変わらず、リズムが一定で美しい、流石プロだなと思いました。これで人が倒れていても大丈夫です。

成果と課題

【成果】

講義、実習ともに、みな真剣に取り組んでおり生きた経験が積めたようである。今後は職場や地域において救急救命活動等にボランティアとして積極的に参加し、社会に貢献できる人材となることを期待している。

【課題】

参加生徒数が予定よりも少ないことは毎年の課題である。また、生徒の中には講義は聴いているものの、実習では恥ずかしがり嫌がる生徒がいるのも同様の課題である。

今後は講習の意義の伝え方や事前学習などの動機付けを工夫していきたい。

